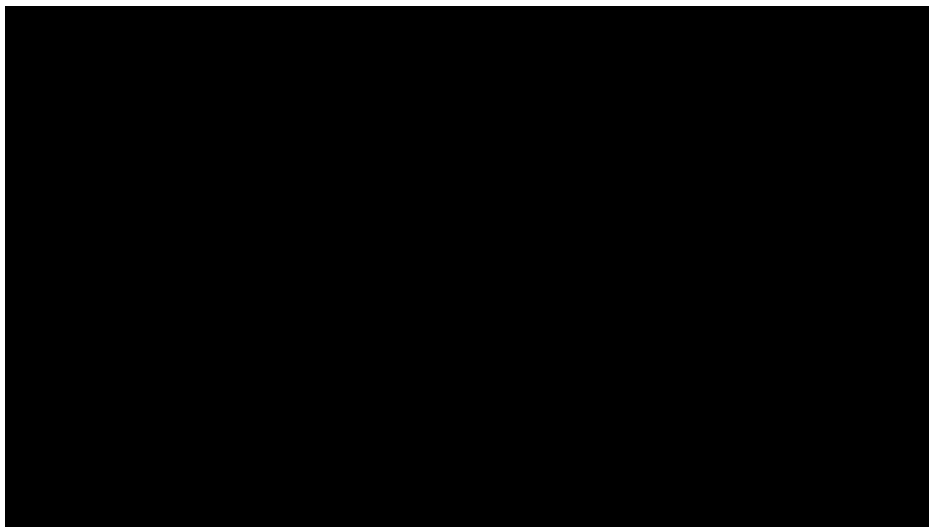


# 咲夜　～親不孝な 人間のお話～

---



まだ幼いあなたを「咲  
夜」って名付けた  
夜に咲き誇る漢字 2 文字  
で「咲夜」  
見習いからメイドとして  
始めたころは  
まだ日傘を持つ手が震え  
てたりしてた

在妳還很小的時候就給妳  
取名「咲夜」  
在夜晚盛開而自誇的漢字  
兩個字「咲夜」  
妳剛開始做見習女僕那時  
  
撐陽傘的手臂還在不停顫  
抖

いつもいつも私たちは一  
緒だったなあ  
背伸びして私の髪をとい  
てくれたなあ  
大きな胸に夜色の瞳輝か  
せたなあ  
あなたがそばに来て私は  
いっぱい笑ったんだなあ

永遠永遠我們會在一起吶  
  
妳踮着腳幫我梳過頭髮吶  
  
看到大胸的時候妳的夜色  
的瞳孔兩眼發過光吶  
自從妳來身邊之後我盡情  
笑過很多次吶

咲夜　咲夜　会いたいよ  
  
いやだ朝までなんて待て  
ないよ  
天に輝く明星　お願い  
時の針をもっと回して  
咲夜　咲夜　会いたいよ

咲夜　咲夜　好想見到妳  
啊  
不行　根本不可能等到天  
亮啊  
天上最亮的金星　求妳了  
讓時鐘的錶針再多轉一些  
咲夜　咲夜　好想見到妳  
啊

いやだ懐こい笑顔待てないよ  
天に輝く明星 お願い

時の針を早く回して

不行 熟悉的笑容根本等不及了  
天上最亮的金星 求妳了

讓時鐘的錶針轉得快些

十六夜の月 あなたの日傘は近かった  
居待の月 日差しが漏れ出る震える手  
更待の月 出される紅茶は苦かった  
下弦の月 いつのまに遠くなる日傘  
有明の月 日差しを漏らさぬ瀟洒な手  
三十日の月 おかしな紅茶を淹れだした  
小望の月 ふたたび近くなった日傘  
満月の夜 最後となる貴女の紅茶

十六夜之月 妳撐的陽傘好近  
居待之月 沒法遮住日光 妳發抖的手  
更待之月 妳沏的紅茶好苦  
下弦之月 不知何時起陽傘變遠了  
有明之月 不會漏過陽光 妳瀟灑的手  
三十之月 妳泡出了奇怪的紅茶  
小望之月 又一次靠近了的陽傘  
滿月之夜 最後一次喝妳的紅茶

咲夜 咲夜 会いたいよ  
いやだ明日も貴女を待ちたいよ

咲夜 咲夜 好想見到妳啊  
不行 明天也想等妳啊

天に輝く明星　お願い  
咲夜じゃなきゃ背が高い  
んだ

咲夜　咲夜　会いたいよ

いやだすました笑顔待ち  
たいよ

天に輝く明星　お願い  
日傘が遠くてまぶしいわ

天上最亮的金星　求妳了  
不是咲夜的話個頭太高了

咲夜　咲夜　好想見到妳  
啊

不行　想以若無其事的笑  
容等妳啊

天上最亮的金星　求妳了  
陽傘太遠了實在耀眼啊

「そろそろみたいです」  
と貴女がそつと言う  
その声を私は背を向けた  
まま聞いた

従者に見せちゃいけない  
顔だから、だけど

「幸せでした」貴女がそ  
う続けるから

「好像快到時間了」妳輕  
聲說道

我沒有回頭　背對着聽了  
這句話

因爲這表情不能讓僕人看  
到的，但是

「我這一生很幸福」妳又  
這麼補充道

咲夜　咲夜　会いたいよ

いやだずっと貴女を待ち  
たいよ

天に輝く明星　お願い  
時の針を止めてしまって

咲夜　咲夜　会いたいよ

咲夜　咲夜　好想見到妳  
啊

不行　想一直等着妳啊

天上最亮的金星　求妳了  
讓時鐘的錶針停下

咲夜　咲夜　好想見到妳

いやだ貴女の笑顔待ちたいよ

天に輝く明星 お願い

時の針を進ませないで  
咲夜 咲夜 会いたいよ

いやだずっと貴女を待ちたいよ

天に輝く明星 お願い  
時の針を逆さに向けて  
咲夜 咲夜 会いたいよ

いやだ貴女の笑顔待ちたいよ

天に輝く明星 お願い  
私の時を取り返して

啊

不行 想等着你的笑脸啊

天上最亮的金星 求你了

别让时钟的錶针再走了  
咲夜 咲夜 好想见到你  
啊

不行 想一直等着你啊

天上最亮的金星 求你了  
让时钟的錶针调转方向  
咲夜 咲夜 好想见到你  
啊

不行 想等着你的笑脸啊

天上最亮的金星 求你了  
把我的时间还给我

まだ幼いあなたを「咲夜」って名付けた  
夜に咲き誇る漢字2文字で「咲夜」

貴女が去りおかしなお茶はでなくなる けれど  
しょっぱい紅茶はやはり美味しくないわね 咲夜

在你還很小的時候就給你取名「咲夜」

在夜晚盛開而自誇的漢字兩個字「咲夜」

你離開後已經不再是奇怪的紅茶了 但是鹹鹹的紅茶果然不可能好喝啊 咲夜

翻譯了這麼多首別人的歌，終於輪到一首關於我自己的歌了—(追真)—。

這首歌名「咲夜 ～親不孝な人間のお話～」，翻譯一下的話就是「咲夜 ～不孝的人類的故事～」，是從紅魔館大小姐蕾米莉亞的角度，講述關於咲夜的壽命論的故事。

關於壽命論，之前翻譯 星色夜空 的時候就提到過一次，那時沒有詳述，這裏就藉此機會稍微講一下。東方的正作設定中，幻想鄉居民大部分都是神仙妖精魔女幽魂，這些都沒有壽命的限制，在入住幻想鄉之後都能和大家幸福快樂地永遠生活下去，但是除此之外還有普通的人類，比如巫女博麗靈夢，比如十六夜咲夜。作為普通的人類，就會有壽命，也就是說在人生的某一刻，會離大家而去。東方正作的故事都是當下發生的事情，不會涉及稍遠的未來，但是在二次創作中的設定裏，就會談論到壽命的問題，尤其是當二次創作中出現CP的時候，CP中一方有壽命而另一方沒有壽命，難免會出現悲歡離合陰陽兩隔的局面。於是東方的壽命論，就是指這種背景下二次創作的故事。

具體到紅魔館居民，大小姐和二小姐都是吸血鬼，保持年幼的身體生活了幾百年了。遍覽禁書的帕秋莉是魔女，已經掌握了永葆青春的方法百年。門番紅美玲是妖怪，就算有壽命也比人類長久很多。唯獨女僕長咲夜，在正作設定中，種族一欄寫的是「人類」。而且咲夜不僅是普通的人類，設定的能力欄寫的是「有操縱時間的程度的能力」，咲夜的技能也是各種讓時間減慢甚

至停止的魔法。在二次設定中，使用技能讓時間停止的咲夜，時間停止時她自己的時間還在繼續，於是比起普通的人類，咲夜每次使用技能就會讓自己衰老得更快一些。並且做事認真負責的咲夜，爲了打理紅魔館內的日常工作，甚至大量使用技能把大部分女僕的工作全都自己一人包攬下來了，正作設定中「完全瀟灑的女僕長」，在壽命論的二次設定下也就成爲了微縮自己的人生，爲紅魔館任勞任怨 不惜縮短生命的女僕長。

這首歌，就是這樣的背景故事。與之相關的，還有一部同名的短篇小說：

<https://www.pixiv.net/novel/show.php?id=8550966>

回到歌詞翻譯，這篇沒有什麼難詞，就在右邊順便解釋一下手繪MV的劇情中，歌詞沒有描述到的地方吧。

まだ <sup>おさな</sup>幼いあなたを「<sup>さくや</sup>咲夜  
」って <sup>なづ</sup>名付けた  
<sup>よる</sup>夜に <sup>さ</sup>咲き <sup>ほこ</sup>誇る <sup>かんじ</sup>漢字  
<sup>にもじ</sup>2文字で「<sup>さくや</sup>咲夜」  
<sup>み</sup>見 <sup>な</sup>習いからメイドとして  
<sup>はじ</sup>始めたころは  
まだ <sup>ひがさ</sup>日傘を <sup>も</sup>持つ <sup>て</sup>手が <sup>ふる</sup>震  
えてたりしてた

大小姐是吸血鬼懼怕陽光，於是白天出門時需要有人撐着陽傘。

わたし  
いつもいつも 私 たちは  
いっしょ  
一緒 だったなあ  
せ の わたし かみ  
背 伸びして 私 の 髪 をと  
いてくれたなあ  
お むね よるいろ ひとみ  
大 大 な 胸 に 夜色 の 瞳  
かがや  
輝 かせたなあ

あなたがそばに 来 て 私  
わら  
はいっぱい 笑 ったんだ  
なあ

さくや さくや あ  
咲夜 咲夜 会 いたい  
よ

あさ ま  
いやだ 朝 までなんて 待 て  
ないよ

てん かがや みようじょう ねが  
天 に 輝 く 明星 お 願  
い

とき はり まわ  
時 の 針 をもっと 回 して  
さくや さくや あ  
咲夜 咲夜 会 いたい  
よ

手繪中咲夜說的是「いつかは私も…」，「總有一天我也會…」，隱射二次設定中PAD長的屬性。大小姐回的是「残念な運命が見えるわねえ」，「能看到失望的命運吶」。

咲夜：「おやすみなさい！お嬢様！」，「请您晚安了！大小姐！」

這裏「明星」是指「金星」，夜空中最亮的。中文也有對太白星君祈願的說法。



ふところ えがお ま  
いやだ 懐 こい笑顔 待て  
ないよ

てん かがや みようじょう ねが  
天に輝く 明星 お願ひ 咲夜：「おはようござい  
ます」，「早上好」

とき はり はや まわ  
時の針を早く回して

いざよい つき  
十六夜の月 あなたの  
ひがさ ち  
日傘は近かった  
いまち つき ひ ざ も  
居待の月 日差しが漏  
で ふる て  
れ出る 震える手

ふけまち つき だ  
更待の月 出される  
こうちゃ にか  
紅茶は苦かった

かげん つき とお  
下弦の月 いつのまに遠  
ひがさ  
くなる 日傘

ありあけ つき ひ ざ も  
有明の月 日差しを漏  
しょうしゃ て  
らさぬ 瀟洒な手

みそか つき  
三十日の月 おかしな

いざよい つき  
十六夜の月：農曆十六日  
的月亮

いまち つき  
居待の月：農曆十八日的  
月亮。大小姐：「哇哦，  
陽光好刺眼」。

ふけまち つき  
更待の月：農曆二十日的  
月亮。大小姐：「好苦，  
啊好痛」

かげん つき  
下弦の月：滿月之後半個  
月的月亮，農曆十六日到  
月末。

ありあけ つき  
有明の月：滿月之後，月  
亮還在天上的時候就已經  
天亮，那段時間的月亮。  
發生在農曆十六日到月  
末。

みそか つき  
三十日の月：農曆三十日  
的月亮。咲夜在鬼笑，大

こうちゃ い  
紅茶を淹れだした

小姐：「呃唔」，咲夜：  
「這是福壽草哇」。關於  
福壽草，中文名 側金盞花  
，又名「朔日草」，和三  
十日相呼應。有少量毒  
性，作為中藥有利尿強心  
鎮靜的功效，過量服用會  
導致嘔吐腹瀉。

こもち つき ちか  
小望の月 ふたたび 近  
ひがさ  
くなった日傘  
まんげつ よる さいご  
満月の夜 最後 となる  
あなた こうちゃ  
貴女の紅茶

こもち つき  
小望の月：望月前一夜，  
農曆十四日的月亮。

さくや さくや あ  
咲夜 咲夜 会いたい  
よ  
あす あなた ま  
いやだ 明日も 貴女を 待  
ちたいよ  
てん かがや みようじょう ねが  
天に輝く 明星 お願  
い  
さくや せ たか  
咲夜 じゃなきゃ 背が高  
いんだ

咲夜：「請您晚安」

這裏是紅美玲在撐傘了。  
正作設定中咲夜比美玲高  
的，於是指咲夜已老，也  
指美玲工作不上心。

さくや さくや あ 咲夜 咲夜 会 いたい 咲夜：「大小…姐…」

よ

いやだすました<sup>えがお ま</sup>笑顔待 ち  
たいよ

てん かがや みようじょう ねが  
天に輝 く 明星 お 願

い

ひがさ とお  
日傘 が 遠 くてまぶしいわ

---

接下來間奏裏發生的事情：大小姐在翻閱平常從來不會看一眼的帕秋莉的藏書，在守矢神社的賽錢箱大把塞錢，捉了月兔討要長生不老的蓬萊靈藥，掐着月人藥師八意永琳的脖子因為永琳曾經給地上人嫦娥做過蓬萊靈藥。（順帶一提永夜抄中永琳見到咲夜的時候非常震驚，原因只有她自己知道。）最後大小姐把十字架插入了自己的胸口試圖了卻自己。

---

「そろそろみたいです」と<sup>あなた</sup>貴女がそっと<sup>い</sup>言う  
<sup>こえ わたし せ む き</sup>その声を私は背を向けたまま聞いた  
<sup>じゅうしゃ み かお</sup>従者に見せちゃいけない顔だから、だけど  
<sup>しあわ あなた つづ</sup>「幸せでした」貴女がそう続けるから

---

さくや さくや あ  
咲夜 咲夜 会 いたいよ

い<sup>あなた</sup>やだ<sup>ま</sup>ずっと 貴女を待<sup>ま</sup>ちたいよ

てん <sup>かがや</sup> 天に輝<sup>みようじょう</sup>く 明星 <sup>ねが</sup> お願<sup>ねが</sup>い

とき <sup>はり</sup> 時の針 <sup>と</sup>を止<sup>と</sup>めてしま<sup>と</sup>って

<sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>あ</sup> 会<sup>あ</sup>いたいよ

い<sup>あなた</sup>やだ 貴女 <sup>えがお</sup>の笑顔 <sup>ま</sup>待<sup>ま</sup>ちたいよ

てん <sup>かがや</sup> 天に輝<sup>みようじょう</sup>く 明星 <sup>ねが</sup> お願<sup>ねが</sup>い

とき <sup>はり</sup> 時の針 <sup>すすま</sup>を進<sup>すすま</sup>せないで

<sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>あ</sup> 会<sup>あ</sup>いたいよ

い<sup>あなた</sup>やだ<sup>ま</sup>ずっと 貴女を待<sup>ま</sup>ちたいよ

てん <sup>かがや</sup> 天に輝<sup>みようじょう</sup>く 明星 <sup>ねが</sup> お願<sup>ねが</sup>い

とき <sup>はり</sup> 時の針 <sup>さか</sup>を逆<sup>む</sup>さに向<sup>む</sup>けて

<sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>さくや</sup> 咲夜 <sup>あ</sup> 会<sup>あ</sup>いたいよ

い<sup>あなた</sup>やだ 貴女 <sup>えがお</sup>の笑顔 <sup>ま</sup>待<sup>ま</sup>ちたいよ

てん <sup>かがや</sup> 天に輝<sup>みようじょう</sup>く 明星 <sup>ねが</sup> お願<sup>ねが</sup>い

わたし <sup>とき</sup> 私 <sup>と</sup>の時 <sup>かえ</sup>を取<sup>かえ</sup>り返<sup>かえ</sup>して

---

<sup>おさな</sup> まだ 幼<sup>おさな</sup>いあなたを「<sup>さくや</sup>咲夜<sup>なづ</sup>」<sup>なづ</sup>て名<sup>なづ</sup>付<sup>なづ</sup>けた

<sup>よる</sup> 夜<sup>さ</sup>に咲<sup>ほこ</sup>き誇<sup>かんじ</sup>る 漢字 <sup>にもじ</sup> 2文字<sup>さくや</sup>で「<sup>さくや</sup>咲夜<sup>さくや</sup>」

<sup>あなた</sup> 貴女 <sup>さ</sup>が去<sup>さ</sup>りおかしな<sup>ちゃ</sup>お茶<sup>ちゃ</sup>はでなくなる けれど

<sup>こうちゃ</sup> しょっぱい紅茶<sup>お</sup>はやはり 美味<sup>い</sup>しくないわね <sup>さくや</sup> 咲夜<sup>さくや</sup>

---

